

T25マニュアル (散布～散布後)

イノチオプラントケア株式会社

1. 離陸する

モーターを始動させるには、
八の字（外側①）または逆八
の字（内側②）に両スティック
を倒す。（下に倒し、その
まま横に倒す）

モーターが回転し始めたら一
度スティックを戻し、その後
右スティックを上によりゆる
倒し、機体を上昇させる。



1. 離陸する

機体を上昇させ、散布開始位置まで移動させる。
機首が進行方向をまっすぐ向くように調節する。
オペレーターは常に機体の真後ろにいること。



オペレーター

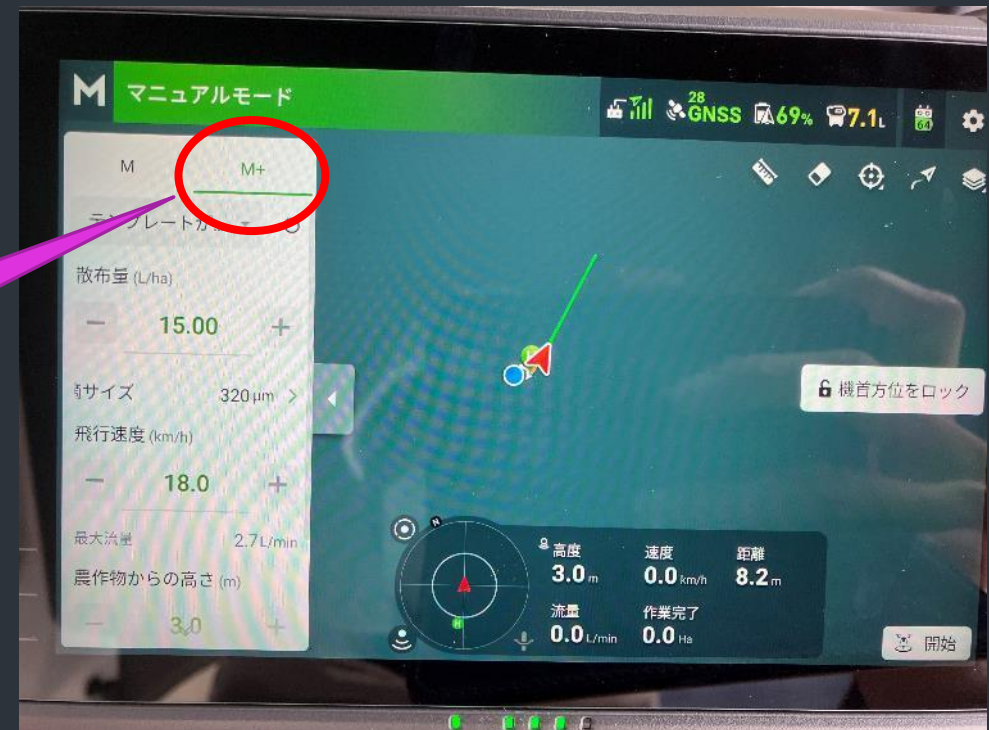
2. 散布開始

- ▶ **マニュアル(M)**：手動で散布するモード。機体を自由に操作でき、噴霧のON/OFFはボタンで行う。T25では、噴霧量、液滴サイズ、最大飛行速度が設定できるようになった。
- ▶ **マニュアルプラス(M+)**：散布操作を自動制御するモード。噴霧を自動で行う。散布幅を設定でき、横移動はボタン入力で散布幅と同じ距離を自動で移動するため、散布ムラが少ない。
- ▶ **A-Bレート(AB)**：A点・B点を定め線で結び、その線に対して平行移動しながら自動散布するモード。機体の制御をすべて自動で行うため、オペレーターの作業は主にA点・B点の登録のみ。

3.M+モード

- ▶ 「M+」をタップ
 - ▶ からha当たり散布量、液滴サイズ、飛行速度、散布幅、飛行高度を設定する
 - ▶ ディスプレイ右下の「開始」をタップ
- ※「開始」をタップした時点で切り替わるため、機体をスタート位置にホバリングさせ、機首を進行方向に向けてから設定すること

「M+」をタップして切り替え



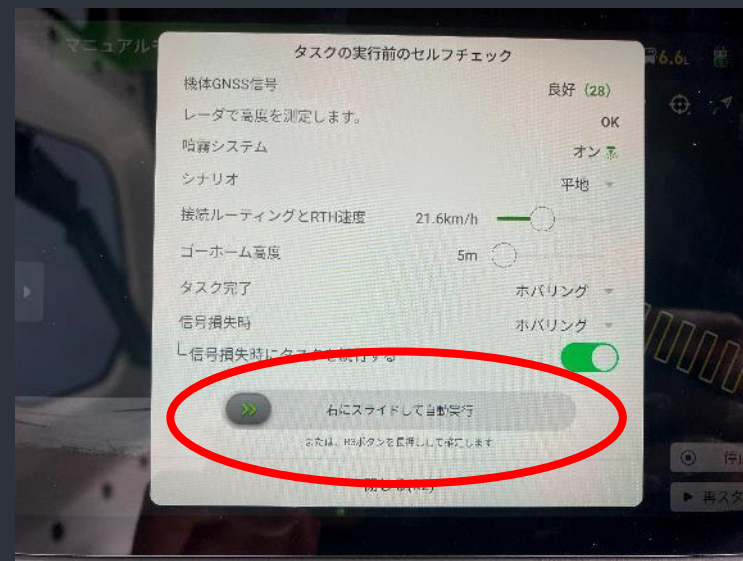
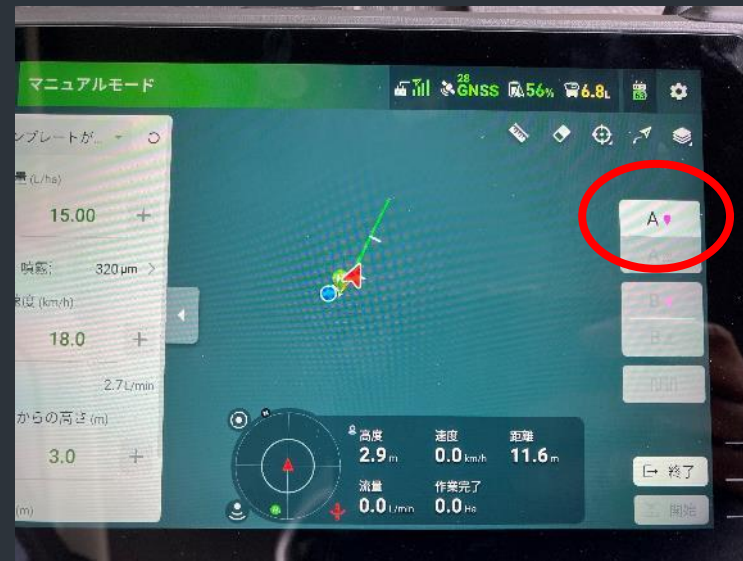
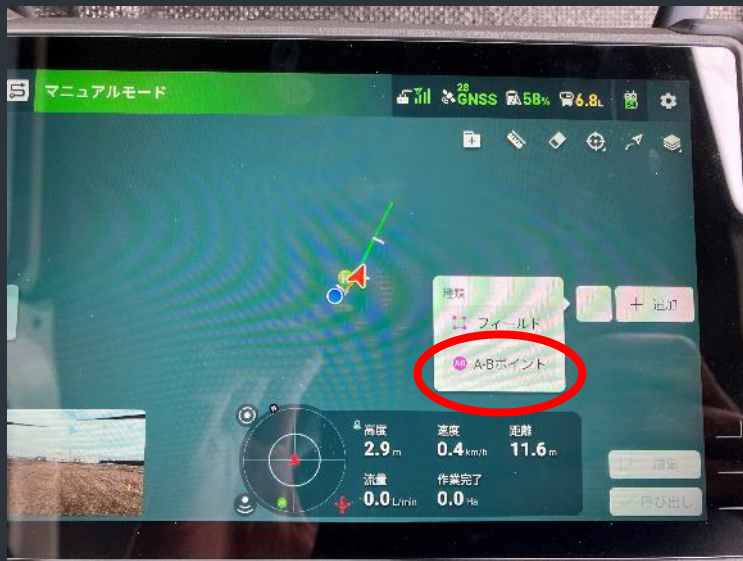
3.M+モード

M+のポイント

- ▶前方・後方に加速するときに自動的に噴霧し、機体が停止すると噴霧も停止するため、散布ボタンを押さなくてよい
- ▶前後に移動するときはスティックを倒しきる
- ▶機首はロックされるが、スティックでの横移動は可能なため、進路を調節できる

4.A-Bルートモード

- ▶ 「経路」をタップ
- ▶ 「ABポイント」を選択
- ▶ 散布開始位置に機体を合わせ、「A」をタップして登録する
- ▶ 散布停止位置に機体を移動させ、「B」をタップして登録する
- ▶ 移動する方向を確認する
- ▶ 散布の設定を行い、右下の「開始」をタップ
- ▶ セルフチェックにエラーがないことを確認し、スライドして作業開始



4.A-Bルートモード

A-Bルートのポイント

- ▶Aポイント登録後、Bポイントを登録するまではマニュアルモードのため、手動で散布しながらBポイントに向かう
- ▶スタート後はスティック入力、障害物検知、バッテリー・薬剤切れで一時中断する。それ以外では止まらないため機体から目を離さない
- ▶ABルートが圃場に対してずれないように最初のポイント登録は慎重に行う(修正する場合は再設定)

5. 散布終了後

- ▶ タンクの中に残った薬剤を排出し、タンク内部、注入口と排出口のフィルターを流水とブラシで掃除する。排出した薬剤は道路や水路に流さず、容器で受けて適切に処理する。
- ▶ 排出口を閉めてタンクに水を入れ、吐出を開始する。ポンプとホース内の薬剤を排出する。
- ▶ アトマイザーの回転盤を外し、流水とブラシで掃除する。
- ▶ 固く絞った雑巾でプロペラ、ボディに付着した薬剤を拭きとる。プロペラの裏側にも付着しているので、しっかり両面拭くようにする。



手で回して外す



六角レンチでさらに分解

6. バッテリー取扱い

- ▶ 炎天下直射日光のもとにさらさず、風通しのよい日陰や冷房の効いた車内に置くようにする。
- ▶ 使用後は高温になるため、充電する際は冷ましてから行う。
- ▶ 散布終了後は日の当たらない涼しい場所で保管する。付着した農薬は拭き取る。
- ▶ 冬など使用しない時期については、暖房が効き最低室温が氷点下を下回らない家の中に置いて保管する。
- ▶ 膨らみや破損、セルバランスの異常がみられるバッテリーについては使用せず、販売店へ連絡する。
- ▶ 5か月以上充放電がないバッテリーは補償の対象外となるので、少なくとも3か月に1回は満充電にする。